



「ミス日本みどりの大使」とは

公益社団法人国土緑化推進機構Webサイト「みどりの大使」
(<https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/entry-1679.html>)

みどりの大使が行く!



2025
ミス日本
みどりの大使
佐塚 ころこ

チェーンソーの扱いを学ぶ

みなさんこんにちは。ミス日本みどりの大使の佐塚ころこです。

先日、地元長野県にて「林業技術者養成講習（伐木造材課程）」を受講し、チェーンソーの扱いについて3日間みっちり学びました。座学と実技の両方を体験することで、チェーンソーの正しい扱い方や林業に携わる方々の苦勞を肌で感じることで、大変貴重な時間となりました。

安全第一を心がけて

講習1日目の座学ではチェーンソーの構造や安全な使い方、山の中で出遭う危険な生物についての講義を受けました。実際に作業を行う時には、作業中の小さな確認の漏れが大きな事故やリスクにつながってしまう事例を学びました。特に印象に残った

頭では理解していても…

のは「安全を最優先に考えなければならぬ」という講師の方の言葉です。チェーンソーは一歩間違えれば重大な事故につながる道具であり、常に緊張感を持って扱う必要があることを強く意識しました。また、特に注意が必要な木や木の処理の仕方、一つ一つの手順を確認し、漏れなく作業をすることで、リスク防止に繋がることがわかりました。座学を通じて、安全に配慮しようという気持ちが高まりました。

講習2日目からの実技では、実際にチェーンソーを手に取り、丸太を切る作業に挑戦しました。最初に感じたのは、チェーンソーの重さです。見た目以上に



林業に携わる方々の安全を願って

3日間を通じて林業に携わる方々への尊敬の念がより一層募りました。山での作業は体力的にも精神的にも厳しいですが、森を守り、木を利用しながら次の世代へ自然をつなげていくという責任感のもとに働いている姿は、本当に尊いです。また、実技講習ではたくさん汗をかきました。夏の暑い中で作業をする皆様の苦勞を身をもって感じる事ができました。皆様が悲惨な事故に遭わないことを心から願い、望んでいます。

この3日間の学びは、単にチェーンソーを使えるようになるためのものではなく、安全意識を高め、自然と人との関わりを考える貴重な機会となりました。みどりの大使の活動の中でチェーンソーが登場したら、今回の経験を思い出しながら、実際にチェーンソーを使っている人の思いを、より深いところまで掘り下げて、お話をお伺いしたいです。

チェーンソー講習を通して学んだことは一生の財産となりました!



ずっしりとしており女性の私には大変に感じました。比較的軽いとされる電動チェーンソーで実技に挑みましたが、長時間の作業は体力的にも大きな負担となることが分かりました。さらに、まっすぐに切ることの難しさにも直面しました。頭では理解していても、実際に刃を入れるとわずかな力加減や姿勢の乱れで切り口が傾いてしまっているようにいきません。講師の方に指導いただきながら、繰り返し練習して少しずつ感覚を掴んでいきました。

私がこれまで経験した視察活動において、林業従事者の方々が正確かつ効率的に作業されていることを思い出し、その技術と経験の深さに、敬意の気持ちを新たにしました。